

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	九州医学技術専門学校
設置者名	学校法人 九州総合学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	臨床検査科	夜・通信	102 単位 (旧課程 2690 時間)	10 単位	
	医療秘書科	夜・通信	42 単位	4 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) ※ () 内は学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)に基づく授業時数である。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

カリキュラム一覧に講師名を入れ実務経験の有無をわかるようにしている。
ホームページにて公表
https://kyuigi.ac.jp/assets/pdf/about/information/zitsumu_umu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	九州医学技術専門学校
設置者名	学校法人 九州総合学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上にて公表

https://kyuigi.ac.jp/assets/pdf/about/information/rizi_member.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元県議会議長	2025. 6. 30 ～ 2029. 6	外部理事として、組織運営体制へのチェック機能を果たすとともに、学校法人の最終的な意思決定機関である理事会において、学校運営計画の策定等に対してその知見の十分な活用を図る。
非常勤	現県議会議員		
(備考) 任期の終期は 2029 年度の定時評議員会の終結の時まで (6 月予定)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州医学技術専門学校
設置者名	学校法人 九州総合学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書(シラバス)は、各学科における教育課程及び教育目標に基づき、各授業科目担当者が作成している。シラバスには、授業科目名、授業概要、到達目標、授業計画、成績評価方法、単位数等を記載している。 シラバスの作成にあたっては、学科ごとのカリキュラム編成方針及び教育内容との整合性を確認し、毎年度見直しを行っている。 作成したシラバスは、新年度当初に学校ホームページ上で公表し、学生への周知を行っている。	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表 https://kyuigi.ac.jp/about/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本校では、学則及び諸規則集に基づき、各授業科目の学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位認定を行っている。 成績評価は、シラバスに記載した評価方法に基づき、期末試験、小テスト、レポート、実習評価等を総合的に勘案し、各授業科目担当者が行っている。 単位認定については、原則として、各授業科目の成績評価が100点法で60点以上であり、かつ履修すべき授業時間数の3分の2以上の出席を満たした場合に認定している。 また、追試験、再試験及び未修得単位試験についても、諸規則集に基づき適切に実施している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 授業計画書（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準に基づき、各授業科目の成績を100点法により評価し、履修科目の成績平均値を算出することで、学生の成績分布状況を把握している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページにて公表 https://kyuigi.ac.jp/assets/pdf/about/information/tani_hoshin.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校では、各学科の教育目標に基づき、卒業認定に関する方針を定めている。 卒業認定は、卒業認定会議での審議を経て学校長が行い、所定の教育課程の履修及び単位修得状況、出席状況、学納金納入状況並びに学生としての平素の性行等を総合的に判断している。 臨床検査科においては、卒業認定試験及び校外模擬試験成績等を踏まえ、卒業認定を行っている。 卒業認定に関する方針及び基準については、諸規則集に基づき運用するとともに、学校ホームページ上で公表し、学生への周知を行っている。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにて公表 https://kyuigi.ac.jp/assets/pdf/about/information/soitsu_nintei.pdf

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床検査科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2026 年度以降入学者適用 118 単位	77 単位		41 単位		
		2025 年度以前入学者適用 112 単位時間	68 単位		44 単位		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		95 人	0 人	7 人	23 人	30 人	
(備考) (任意記載事項)							
2026 年度入学者より学校教育法改正に伴う新教育課程（単位制）を適用している。 2025 年度以前入学者については旧教育課程（単位時間制）を適用しているため、学 校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）に基づき、それぞれ区分して記載し ている。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）は、各学科における教育課程及び教育目標に基づき、各授業科目担当者が作成している。シラバスには、授業科目名、授業概要、到達目標、授業計画、成績評価方法、単位数等を記載している。 シラバスの作成にあたっては、学科ごとのカリキュラム編成方針及び教育内容との整合性を確認し、毎年度見直しを行っている。 作成したシラバスは、新年度当初に学校ホームページ上で公表し、学生への周知を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 本校では、学則及び諸規則集に基づき、各授業科目の学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位認定を行っている。 成績評価は、シラバスに記載した評価方法に基づき、期末試験、小テスト、レポート、実習評価等を総合的に勘案し、各授業科目担当者が行っている。 単位認定については、原則として、各授業科目の成績評価が100点法で60点以上であり、かつ履修すべき授業時間数の3分の2以上の出席を満たした場合に認定している。 また、追試験、再試験及び未修得単位試験についても、諸規則集に基づき適切に実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校では、各学科の教育目標に基づき、卒業認定に関する方針を定めている。 卒業認定は、卒業認定会議での審議を経て学校長が行い、所定の教育課程の履修及び単位修得状況、出席状況、学納金納入状況並びに学生としての平素の性行等を総合的に判断している。 臨床検査科においては、卒業認定試験及び校外模擬試験成績等を踏まえ、卒業認定を行っている。 卒業認定に関する方針及び基準については、諸規則集に基づき運用するとともに、学校ホームページ上で公表し、学生への周知を行っている。
学修支援等
（概要） 補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談等を通じて、学生一人ひとりの状況に応じた学修支援を行っている。 また、試験センターを設置し、定期試験、国家試験及び各種検定試験に係る試験運営を一元的に管理するとともに、学習状況の把握及び指導体制の充実を図っている。 さらに、学生サポート室を設置し、学習面及び学生生活全般に関する相談・支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40 人 (100%)	1 人 (2.5%)	31 人 (77.5%)	8 人 (20%)
(主な就職、業界等) 県内外の医療機関（病院、クリニック、検査センター等）			
(就職指導内容) 自己分析、自己 PR 指導、履歴書作成指導、面接指導等を授業及び個別指導を通じて実施し、学生の就職活動支援を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 卒業時に臨床検査技師国家試験受験資格を取得できる。			
(備考)（任意記載事項） ※臨床検査技師として就職するためには、臨床検査技師国家試験に合格し、免許を取得する必要がある。また、国家試験合格者については、就職または進学している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
105 人	5 人	4.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学力面での不安、家庭の事情（経済的理由を含む）等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補習・補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談等を通じて、学生一人ひとりの状況に応じた支援を行っている。		

<医療秘書科>

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	医療秘書科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼間	43 単位	36 単位		7 単位			
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人		8 人	0 人	1 人	6 人	7 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）は、各学科における教育課程及び教育目標に基づき、各授業科目担当者が作成している。シラバスには、授業科目名、授業概要、到達目標、授業計画、成績評価方法、単位数等を記載している。 シラバスの作成にあたっては、学科ごとのカリキュラム編成方針及び教育内容との整合性を確認し、毎年度見直しを行っている。 作成したシラバスは、新年度当初に学校ホームページ上で公表し、学生への周知を行っている。
績評価の基準・方法
（概要） 本校では、学則及び諸規則集に基づき、各授業科目の学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位認定を行っている。 成績評価は、シラバスに記載した評価方法に基づき、期末試験、小テスト、レポート、実習評価等を総合的に勘案し、各授業科目担当者が行っている。 単位認定については、原則として、各授業科目の成績評価が 100 点法で 60 点以上であり、かつ履修すべき授業時間数の 3 分の 2 以上の出席を満たした場合に認定している。 また、追試験、再試験及び未修得単位試験についても、諸規則集に基づき適切に実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校では、各学科の教育目標に基づき、卒業認定に関する方針を定めている。 卒業認定は、卒業認定会議での審議を経て学校長が行い、所定の教育課程の履修及び単位修得状況、出席状況、学納金納入状況並びに学生としての平素の性行等を総合的に判断している。 卒業認定に関する方針及び基準については、諸規則集に基づき運用するとともに、学校ホームページ上で公表し、学生への周知を行っている。

学修支援等
(概要) 補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談等を通じて、学生一人ひとりの状況に応じた学修支援を行っている。 また、試験センターを設置し、定期試験、国家試験及び各種検定試験に係る試験運営を一元的に管理するとともに、学習状況の把握及び指導体制の充実を図っている。 さらに、学生サポート室を設置し、学習面及び学生生活全般に関する相談・支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13 人 (100%)	0 人 (0%)	13 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 県内外の病院、クリニックなど			
(就職指導内容) 自己分析、自己 PR 指導、履歴書作成指導、面接指導等を授業及び個別指導を通じて実施し、学生の就職活動支援を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療秘書技能検定、メディカルクラーク、ORCA 技能認定試験等の資格・検定取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 該当なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補習・補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談等を通じて、学生一人ひとりの状況に応じた支援を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
臨床検査科	150,000 円	800,000 円	300,000 円	
医療秘書科	100,000 円	400,000 円	350,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://kyuigi.ac.jp/assets/pdf/about/information/school_zikotenken.pdf		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検・評価を教職員が一体となって実施し、学校運営及び教育活動の改善に取り組んでいる。また、企業関係者、卒業生等で構成する学校関係者評価委員会を設置し、学校評価を実施・公表するとともに、評価結果を教育活動及び学校運営の改善に反映している。さらに、学校関係者からの意見を踏まえ、学校側の意向に偏ることなく、社会が求める実践的かつ専門的な職業教育を行うとともに、学生及び保護者の意向にも配慮した教育内容及び学校運営を目指している。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
長崎メンタルヘルス株式会社	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
長崎原爆病院	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日 (2年)	企業等委員・卒業生
長崎セントノーヴァ病院	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日 (2年)	卒業生
神村学園高等部 大村学習センター	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
葉山自治会	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日 (2年)	※元私立高校教諭

第三者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて好評 https://kyuigi.ac.jp/assets/pdf/about/information/school_related.pdf
(備考)
第三者評価は未実施であり、学校関係者評価を実施している。

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyuigi.ac.jp
--